

(別紙様式2) 利用学習報告書

平成28年7月4日

仙台市縄文の森広場 館長 様

仙台市立茂庭台小学校
校長 三井 裕
第6学年 木村 雅之

「縄文の森広場」利用学習報告書の提出について

表記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日

- ・ 平成28年4月14日(木) 1時間
- ・ 平成28年4月15日(金) 1時間

(2) 主な内容

- ・ 社会科の授業で、探検シートの答え合わせをしながら、縄文時代の生活の様子の復習を行った。

2 送付する資料

- ・ 児童生徒の学習後の学習新聞(2点 2名分)

3 個人情報保護との関連

提出した資料中の児童の個人名は伏せております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年 木村 雅之
TEL 281-1424 FAX 304-8202
Email moniwa@sendai-c.ed.jp

縄文新聞

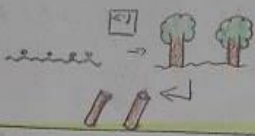
発行日 4月14日
発行者
第1号

縄文作り

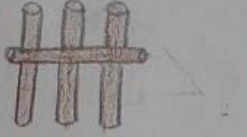
縄文とは曲玉とよばれます。曲玉の由来は曲玉という字の意味から成り立っています。まがったたまごです。始めは、狩ったいのしのつのを取り、穴を開けてひもを通してネットワークのようなものにしていました。

たて穴住居が
できると

① くりの木を育て、はらさね。



② 柱や屋根を
組み立てる



③ 屋根に土を
まき、草を植える



④ とひらをつけて
完成



それが段々丸くなり今の勾玉になつたそうです。縄文人が目の形をまねて作ったりして、このような形になりました。勾玉は、滑石に勾玉の形を書いて、コンクリートのかたまりと、やすりを使い分けて作っていました。

縄文時代の家と土器

縄文時代の家のことを「たて穴住居」と言います。これは、くりの木を柱にして建てる家です。屋根には土と草をのせます。これは最大5人の家族が住んで作るのに2週間かかって、防寒対策もできま

感想

私は初めて縄文の森広場に行きました。たて穴住居に入ったり、勾玉を作ったりしました。これからの勉強では、縄文の森広場で学んだことを生かし、学習日

縄文時代の土器のことを縄文土器といいます。なわのもやうなやつがいるため、縄文土器と呼びます。これは縄文時代の人が火を使っていたので、土に、なべかぶりになります。

縄文の木木の間

発行所

発行日 昭和44年4月

縄文の木木の間 縄文時代を字んたにこころ

ほくは縄文の木木の間で縄文時代の人間の生活についてお話をしました。縄文時代にはたて穴住居といふ家の中に暗いところがありました。



たて穴住居であつたことはやがて地面についていふことがあつた。その中が暗いところであつた。

たて穴は、たて穴といふことであつた。たて穴の理由は、中で直接火をついていふことがあつた。でも上の木は、火のよこに黒くかゝると、こゝろがよいよつになるよつです。たて穴には、タリの木を使つています。

縄文時代のくふう

縄文時代には、土器を作つたり、石器を作つたり、セカリを作つたりしていました。

土器は、ほり出した土をあんどのよつにし、こぼかこの形にします。



石器は、石をけすり、ナイフ、ミナなどあります。

アワセリは、骨をけすり、骨針、骨箸、骨匙、骨のすくひなどあります。

貝殻は、貝殻のすくひ、貝殻のすくひ、貝殻のすくひなどあります。



感じ

ほくは縄文の木木の間で縄文時代の人間の生活についてお話をしました。縄文人は、たて穴に住んで、土器や石器を作つて、生活していました。

